

令和2年10月19日

## 令和2年度文化審議会文化財分科会企画調査会（第1回）の開催について

標記企画調査会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

### 1. 開催日時

令和2年10月28日（水）14：00～16：00

### 2. 開催場所

オンライン会議にて開催

### 3. 議題

- （1）企画調査会長の選任等について
- （2）無形文化財及び無形の民俗文化財の保存及び活用の在り方等について
- （3）その他

### 4. 傍聴・取材

- ・本会議は、議題（1）を除いて、一般に公開する形で行いますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、Webexを用いたオンライン会議による開催とします。
- ・傍聴を希望される方は、10月27日（火）14時までに、傍聴登録フォーム（[https://pf.mext.go.jp/admission/form\\_0002-12.html](https://pf.mext.go.jp/admission/form_0002-12.html)）にて、氏名、所属、連絡先（電話番号及びメールアドレス）を御登録ください。
- ・接続方法等の詳細につきましては、御登録のメールアドレスへ連絡いたします。
- ・なお、都合により、人数を制限させていただく場合があります。
- ・当日の資料は、会議開催までに文部科学省のホームページに掲載する予定です。

<担当> 文化庁文化資源活用課

課長補佐 二見（内線 4760）

係員 砂山（内線 4761）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4761（直通）

E-mail：shigen@mext.go.jp

## 企画調査会の開催について

令和 2 年 10 月 16 日  
文化審議会文化財分科会決定

### <開催の必要性>

かねてから、伝統的な芸能や古くから続く地域のお祭りなどについては、過疎化や急速な少子高齢化等による担い手不足等の理由により、存続の危ぶまれる事態が増えていると指摘されている。一方、近年、書道、食文化等の生活文化をはじめとした様々な文化的所産については、文化財やユネスコ無形文化遺産としての位置付けに関する議論が寄せられており、こうした文化財としての価値付けの定まってない分野等の文化的所産について、保存及び活用の在り方の検討が求められているところである。

こうした状況の中、今般、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて活動の機会が減少したことにより、生活文化を始め多種多様な文化財についてその継承状況はより一層厳しいものとなっている。

他方、平成 29 年、文部科学大臣による諮問「これからの文化財の保存と活用の在り方について」を受け、文化財分科会に設置した企画調査会において検討を行い、翌年には、地域における文化財の計画的な保存及び活用の促進等を図るため、文化財保護法が改正されたところであるが、当時の企画調査会の議論の中で、無形文化財や民俗文化財に関する検討をより深く進めるべきではないかとの意見が出されていたところである。

また、近年、文化財の活用が強く求められており、無形文化財等だけでなく有形文化財等の保存及び活用並びに地域における更なる保存及び活用も求められているところである。

上述の動き及び平成 29 年当時の企画調査会での議論を踏まえ、文化財分科会の下に企画調査会を開催し、無形文化財及び無形の民俗文化財の保存及び活用の在り方を中心に更に検討を行うこととする。

### <主な調査事項>

- 無形文化財及び無形の民俗文化財の保存及び活用の在り方等について

## 文化審議会文化財分科会企画調査会の設置について

平成 29 年 5 月 19 日  
文化審議会文化財分科会決定

### 1. 設置の趣旨

文化審議会文化財分科会運営規則第2条第2項の規定に基づき、文化財分科会に文化財の保存及び活用に関する総合的な政策の企画に係る重要事項に関して調査を行う企画調査会を設置する。

### 2. 調査事項

- (1) これからの時代にふさわしい文化財の保存と活用の方策
- (2) 文化財の持つ潜在力を一層引き出すための文化財行政の新たな展開
- (3) 文化財を確実に継承するための環境整備
- (4) その他

### 3. 企画調査会の構成

分科会長及び分科会長が指名する文化財分科会委員及び専門委員により構成する。

## 文化審議会文化財分科会企画調査会委員名簿

(50音順・敬称略)

- ・岩崎 奈緒子 京都大学教授
- ・甲斐 昭光 兵庫県教育委員会事務局文化財課長
- ・小島 孝夫 成城大学文芸学部教授
- ・児島 やよい キュレーター、明治学院大学非常勤講師
- ・齊藤 裕嗣 東京文化財研究所客員研究員
- ・島谷 弘幸 九州国立博物館長、文化審議会文化財分科会長
- ・滝 久雄 株式会社ぐるなび取締役会長・創業者、公益財団法人日本交通文化協会理事長、株式会社エヌケービー取締役会長・創業者
- ・竹内 由紀子 女子栄養大学准教授
- ・都竹 淳也 飛騨市長
- ・鍋島 稲子 台東区立書道博物館主任研究員
- ・松田 陽 東京大学准教授